（前ページから）

（井上局長） そうですよね。だからこそ、観光もバラバラではなくネットワークを活かし山城全体で取り組んで行く必要があります。例えば、ガラシャ祭りに物産展を行い中北部から多くの方にお越し頂いたり、乙訓発で中北部へのバスツアーを編成するなど、秋に向けて取り組んでいく事が大事です。

（岡村理事長） ＮＨＫの大河ドラマの誘致もありますよね。

（井上局長） 北の方もガラシャと縁のある地域も多く、そういうものも活かして行きたいです。

（岡村理事長） 最後になりますが、水辺フェスティバルへのアドバイス、また青年会議所へのアドバイスをお願い致します。

（井上局長） 水辺フェスティバルは地域を愛して行く為にどうするのかという問いに対する一つの答えであり、地域がどういうところかを知ってもらうために必要な行事だと思います。例えば、三川合流という特色のある地域でイベントを行う点や竹細工という地域の資源を活かしている点などがまさにそうで、今後ともぜひ続けてやって頂きたい。府としては、今後もブースの出展等の協力をさせて頂きたい。

また、例えば、水というテーマでは府営の浄水場が乙訓は桂坂、あとは宇治と木津の３ヶ所あります。

そこでペットボトル飲料水を作っているので、そんなものもお役に立つかもしれません。

なお、浄水場については、府民への施設公開等も行っていますので、機会があれば、是非、見学に来てください。

青年会議所に対しては、今もテーマになっていますが、地域に誇りを持てる、地域を愛せる、そんな地域づくりをして欲しいです。若い人が動く事による元気を期待していまして、いずれにしても行政だけでやる事には限界があり、地域の方々と一緒になって地域づくりをやって行かなければならない時であり、青年会議所にはその大きな核となっていただく事を期待しています。

（記事　中小路　健亨）

栗山元伸副局長 × 岡村猛

（岡村理事長） いつも乙訓青年会議所にご協力頂き、ありがとうございます。私たちは青年経済人として地域のために活動しておりますが、今後もいろいろなアドバイスを頂ければと思っております。

（栗山副局長） 本日はこういった機会を設けて頂き、ありがとうございます。府の様々な行政を地域の方々に知ってもらうという意味で非常に嬉しく思っています。乙訓青年会議所の活動を振り返りますと地域のために汗をかいて頂いて、改めて大変お世話になっていると実感しています。昨今の行政というのは地域の方たちの思いを一緒になってやっていくという体系になってきています。行政が行政として考えていることだけをやっていくという時代ではありません。そういう意味で乙訓青年会議所と可能な限りベクトルをあわせて連携できればと考えています。

（岡村理事長） 水辺フェスティバルは地域の方に集まって頂き、交流する事で地域の良さを再認識してもらう事業です。

（栗山局長） 青年会議所の想いでもあるまちづくりの趣旨をよく理解できる象徴的な事業だと思います。地域の方に水に親しんで頂き、地域の良さを再認識できる非常に良いイベントだと思っています。

（岡村理事長） 小学生の駅伝大会では沿道警備などを主にさせて頂いていますが、まちのためという事だけではなく、メンバー自身の勉強にもなっています。

（栗山副局長） 小学生駅伝では地域の子どもたちが頑張って取り組んできた事を実感でき、また親ごさん達もその事を一生懸命応援されているという仕組みは非常にすばらしいと思います。これからもご協力を宜しくお願いします。

（岡村理事長） 京都第二外環状道路（以下、「にそと」）が開通しました。

（栗山副局長） この地域に「にそと」が開通したという事は画期的に地域の方の生活空間が変わるという事だと思います。ただ、その事を地域の方がどのように理解し、また行政や地域諸団体がどのように活用して変わっていこうとするのかという意識が大切だと感じています。

（岡村理事長） 今年の十二月には西山天王山駅もできます。

（栗山副局長） 乙訓の地域は京都市内から電車で約十五分の地域です。例えば、西山天王山駅を活用し、京都・大阪・神戸などにも行き来できる観光の基点になっていくことも考えられるのではと感じています。

京都府山城広域振興局副局長

栗山 元伸

平成 25 年 4 月
京都府山城広域振興局副局長 就任
兼任 乙訓調整監

（岡村理事長） 地域振興計画についてはどのようにお考えですか。

（栗山副局長） 今までは乙訓地域と山城地域はそれぞれが独立した地域だったと思います。ただ、これからは「にそと」が開通した事によって必然的に人と物が行き来しますので今後は二つの地域が一体性を持って産学活動や観光事業などをやっていければと考えています。

（岡村理事長） 府政運営についてはいかがでしょうか。

（栗山副局長） 大きくは三つを考えています。一つ目はやはり山城地域と連動した運営をして行く事。二つ目は乙訓地域の特色でもある観光地としての発展。そして三つ目は安心・安全な居住空間の確立です。

（岡村理事長） 最後に乙訓青年会議所にむけて一言お願いします。

（栗山副局長） 大変お世話になっている事に改めて感謝します。乙訓地域をメンバー皆で盛り上げていこうとされている乙訓青年会議所の益々のご活躍と更なる発展を強く望んでおります。我々としても二市一町と共に行政一体となって一緒に取り組み、またご提案などを頂きながら頑張っていきますので今後とも宜しくお願いします。

（岡村理事長） 本日はありがとうございました。

（記事　中路　耕太）

２０１３年度第３４代理事長

岡村 猛

平成１６年　乙訓青年会議所　入会
平成２２年　組織力向上委員会　委員長
平成２４年　副理事長
平成２５年　乙訓青年会議所　理事長

近畿地区大会 宇治大会

七月十三日に近畿地区大会　宇治大会が開催されました。朝から暑い中、近畿地区各地青年会議所の皆様が京都府宇治市の山城総合運動公園、太陽が丘に集結しました。会場ではメインフォーラムから始まり人間力大賞、褒賞授与式、式典が行われました。大懇親会では会場である宇治公園塔の島に移しまして大懇親会が開催されました。開催する前に突然の雷雨になり豪雨となった事により一時は、中止の判断も出まして会場の皆様には混乱もまねきましたが、何とか雨も上がり大懇親会も盛大に行われまして、無事に終える事が出来ました。今回の近畿地区大会は思い出深い大会になりました。（記事　谷口　直満）

理事長監事選出委員選挙

二〇一四年度の理事長監事選出委員選挙の投票が七月十日に行なわれ、選挙結果が七月例会にて発表されました。

結果は次の通りです。

（五十音順）

伊東 紘典君　齊藤 寛之君
嶋田 年比于君　田中 俊幸君
松宮 吾朗君　三宅 尚嗣君

当選者の皆様、おめでとうございました。

八月例会のご案内

二〇一三年度も半ばを過ぎ、各委員会がそれぞれ様々な事業を行ってきました。八月例会では、残りの活動を、今まで以上に素晴らしいものにするために、各委員会の行われた活動を振り返り、現時点での反省点や達成点を発表頂きます。また、今後の活動に対する意気込みをメンバー全員に周知して頂きます。

納涼会では、八月迄の活動に対し労をねぎらい、懇親を深め、メンバー全員が一丸となって後半を迎える事が出来る絆を構築して参ります。

二〇一三年八月八日（木）

●例会
十八時三〇分～二十時〇八分
（登録開始　十八時〇〇分）

●納涼会
二十時十五分～二十一時四十五分

（会　場）
ＡＮＡクラウンプラザホテル京都
（旧京都全日空ホテル）２階ホール
例会　朱雀の間
納涼会　平安の間

（所在地）
京都府京都市中京区堀川二条城前

（ＴＥＬ）
〇七五―二三一―一一五五（代表）

会員交流委員会　委員長　嶋田　年比于

8月		乙訓ＪＣ	行政	他団体
1	木	正副理事長会議 理事選挙不在者投票日	歴史講座（向日市文化資料館）	
2	金			
3	土	文化少年団（キャンプ）	七・六七つなぐ（向日神社）	
4	日	文化少年団（キャンプ）		バンビオものづくり市
5	月	ＪＣ運動情報委員会		
6	火	乙訓ＪＣ入会説明会		
7	水	青少年育成委員会 理事選挙投票日		
8	木	八月例会		
9	金			
10	土		向日市民平和と人権のつどい（市民会館）	
11	日			
12	月	理事会		
13	火			
14	水			
15	木			
16	金			
17	土			
18	日		第一回向日市長杯 向日市バスケットボール大会	
19	月	人間力向上委員会		
20	火	会員交流委員会		バンビオ青空個展市
21	水			
22	木	総務財政委員会		
23	金	ビジョン会議勉強		
24	土	ビジョン会議勉強		
25	日	ブロックアカデミー事業		
26	月	まちづくり委員会		
27	火	会員拡大委員会		
28	水			
29	木			
30	金			
31	土			

（行政、他団体は HP から抜粋）